

クボタグループでは、様々なステークホルダーの方々に事業への「共感」と「参画」いただける機会の提供を通じて、企業価値を高める活動を推進しています。

■ 世界各国でさまざまな社会貢献活動を展開

クボタグループは、日本をはじめとした世界各国で、次世代教育やスポーツ振興、地域清掃や環境保全などの社会貢献活動に取り組んでいます。

次世代教育

若い就農世代のサポート(タイ)



SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.(タイ)は若い世代の農業教育をサポートし、前向きな姿勢になってもらうことで農業を始める動機を提供したり、農家への技術提供などを行っています。

スポーツ振興

ユニセフのスポーツ指針に賛同(日本)



クボタが運営する、千葉県船橋市を本拠地とするラグビーチーム“クボタスピアーズ”は、2020年8月にユニセフが掲げるスポーツ指針「子どもの権利とスポーツの原則」にラグビー関係団体では初の賛同を表明しました。

石綿問題への対応について

クボタは旧神崎工場周辺の方々や従業員に石綿疾病の方が出ている事実を真摯に受け止め、過去に石綿を扱ってきた企業として社会的責任を果たすという観点から、今後とも誠意をもってこの問題に取り組んでいきます。



詳細は、当社Webサイトをご覧ください。
www.kubota.co.jp/kanren/

クボタ地球小屋(てらこや)(日本)



子どもたちが自然の恵みの豊かさや地球環境の大切さを学べるサマーキャンプに協賛し、延べ268名が参加。2020年は過去に参加した“地球小屋キッズ”からの写真やメッセージが集う特設ウェブサイトを開通させました。

地域との共生

アウトリーチプログラムを実施(フィリピン)



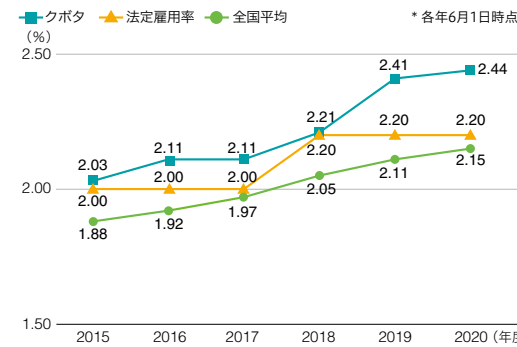
Kubota Philippines, Inc.は、2016年に孤児院での交流会をはじめとした地域社会へのアウトリーチプログラムを開始。ほかにも、食料不足が深刻なフィリピンの先住民アエタ族に農業支援のため耕うん機を寄贈したり、彼らとの交流を深めるため食事会を開催しました。

■ 障がい者の雇用創出×遊休農地活用×水耕栽培

クボタが運営する特例子会社クボタサンベジファーム株式会社では、遊休農地にビニルハウスを建てて、リーフレタス・ほうれん草・小松菜・水菜といった葉物野菜の水耕栽培に取り組み、社内食堂や学校給食、近隣スーパーに出荷しています。

ここでは現在16名の障がい者が安全・安心な美味しい野菜作りに励んでおり、笑顔が溢れるいきいきとした職場づくりを進めています。

障がい者雇用率の推移(国内のクボタグループ適用会社)



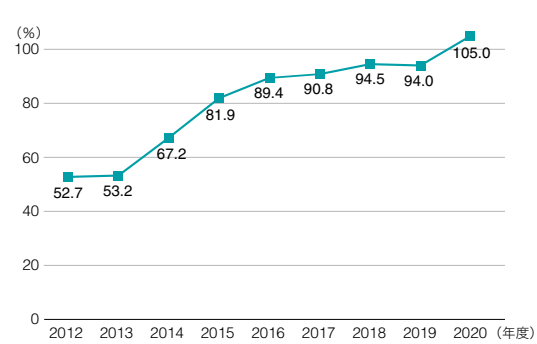
クボタサンベジファーム(株)

■ より働きやすい職場づくりへ

従業員が、安全に安心して働けることはもちろんのこと、誇りや喜びを実感しながら働ける、働きやすさと働きがいのある職場づくりを進めています。

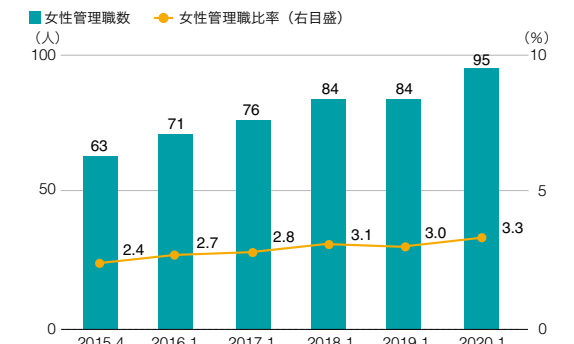


年次有給休暇取得率の推移(クボタ単体)



* 2015年までは、3月16日から翌年3月15日で集計
* 2016年以降は、12月16日から翌年12月15日で集計
* 2020年度は新型コロナウイルス関連の特別休暇日数を含む

女性管理職数の推移(クボタ単体)



■ お客様にご満足いただくために

研究開発

世界中のお客様に「感動をあたえる商品」を提供するため、開発拠点の役割を明確にし、日本をコアとするグローバルな研究開発体制の拡充を推進しています。



大阪府堺市に新設予定の最先端技術開発拠点(2022年設立予定)

生産

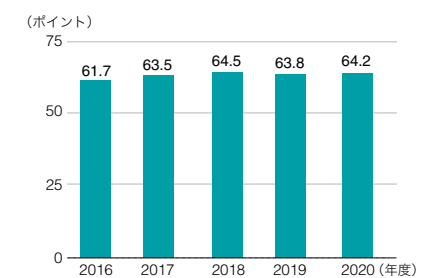
グローバルな生産体制を構築するとともに、各拠点でクボタ生産方式(KPS: Kubota Production System)の展開を進めています。



販売・サービス

お客様ごとの確かなメンテナンスを実現するために、サービス技術力やソリューション提案力を競い合うコンテストの開催や、お客様満足度調査を実施しています。

お客様満足度調査*(前年7月~当年6月)



* 農業機械の購入店総合満足度(国内)